

1. 直轄遊水地整備

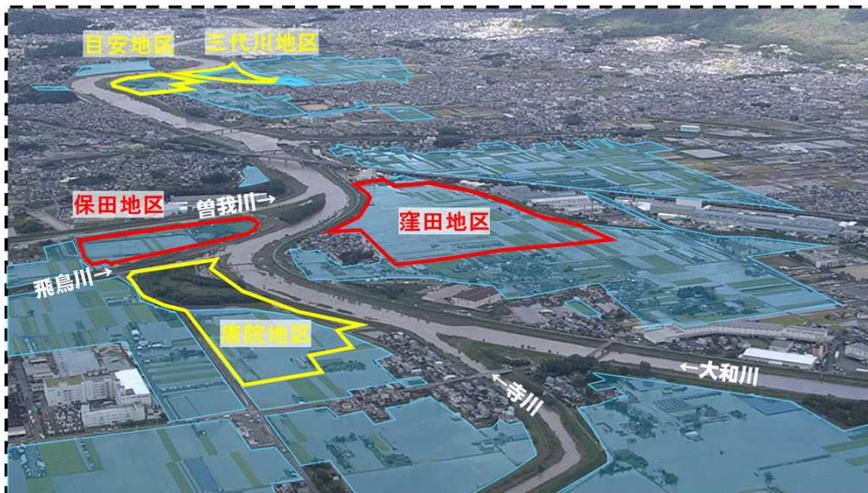
大和川流域全体の治水安全度の向上を早期に図るため、安定的な工事推進

- ① **先行2地区**（川西町保田地区、安堵町窪田地区）の**早期完成**
※概ね3年間で用地買収完了
- ② **先行2地区以外**（斑鳩町目安地区、三代川地区、川西町唐院地区）も、切れ目なく工事推進を図るため、優先順位を決めて**令和2年度から用地買収に着手**

<直轄遊水地位置図>



<平成29年10月 内水はん濫の状況>



凡例	
	①先行2地区
	②先行2地区以外
	内水はん濫範囲

※大和川の溢水により、王寺町、三郷町内では、床上浸水10戸、床下浸水7戸が発生

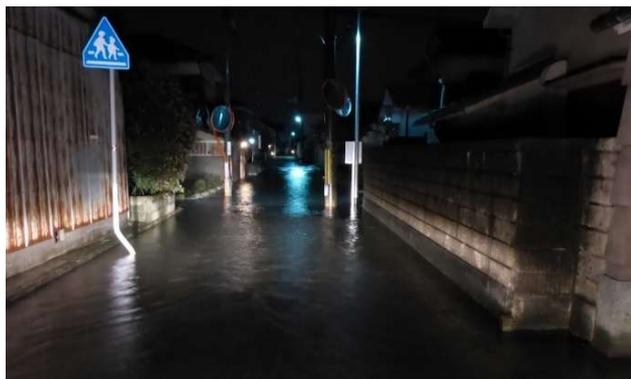
2. 奈良県平成緊急内水対策事業

平成30年度より、**奈良県平成緊急内水対策事業**をキックオフし、5年以内に内水はん濫による床上、床下浸水被害の解消。令和元年度より、適地候補地を確保し、**ステージ2(工事着手)**へ移行

※令和元年度 工事着手箇所:2箇所

⇒ 県・市町の**社会資本整備総合交付金の確保**

<平成29年10月 内水はん濫の状況 田原本町>



<平成29年10月 内水はん濫の状況 広陵町>

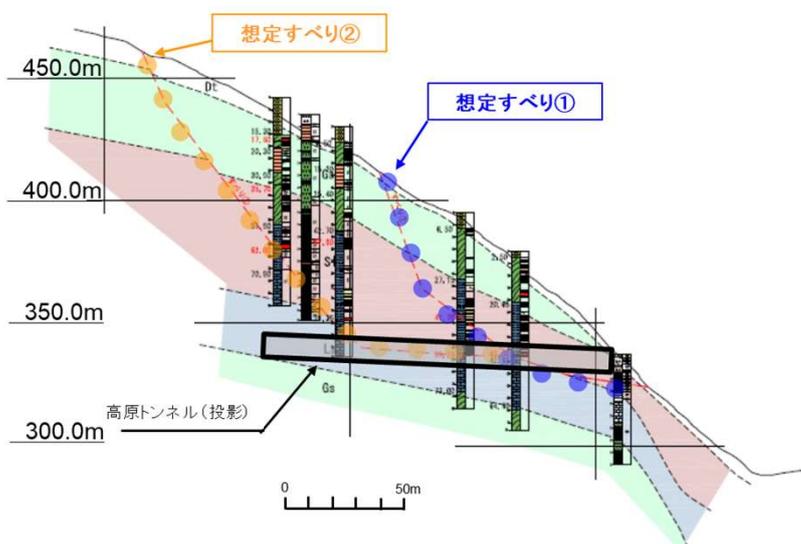


3. 国道169号高原トンネルの地すべり対策

高原トンネルは、昨年11月に地すべりによる変状が確認され、**今年4月まで通行止め**。現在、暫定的に交通解放しているが、地すべり対策は未着手

⇒ 地すべりの規模が大きく、メカニズムも複雑であり、対策には高度な技術力を要するため、**国による早期の施工着手**

<高原トンネル断面図>



<高原トンネル内クラック状況>



※応急対策後、4/17より通行止めを暫定的に解除中。現在も地すべりによる通行止めの可能性が継続。